

カテドラル・ロリーン・シア研究員（フィリピン）



マブハイ！（フィリピンのこんにちは）私はフィリピン国防都市民防衛局（OCD）のロリーンと申します。

まず、私が働いている OCD について紹介します。OCD の国防部長官は国家災害リスク軽減管理評議会（NDRRMC）の議長で、また OCD は NDRRMC の実施と事務局として、フィリピンの包括的な国家市民防衛と災害リスク軽減及び管理（DRRM）プログラムを推進・管理しています。2020 年までに DRRM の中心的役割を担うことを目指しています。

現在、私はブタン市（Butuan）にあるカラガ地域センターに勤務しています。この地域は 5 つの郡と 1 中核都市、5 つの都市、67 自治体と 1,310 のバランガイという小さな地方自治から構成されています。

2001 年以降、本地域センターで私は業務管理及び技術面で経験を積むとともに、防災分野の広範な技術研修を受けてきました。これにより、私は地域防災協議会（RDRRMC）と技術作業部会及び Gawad KALASAG の地域選定委員会の担当者として任命されています。このように、私は OCD 提供の様々な防災能力構築活動や研修プログラムの実施にあたり、ローカル防災協議会（LDRRMCs）や RDRRMC の構成者と密接に働いています。私の業務のひとつは、カラガ地域における防災能力向上活動や研修や防災関連計画策定の技術支援やリソースを提供することです。

最後に、日本における防災分野の優良事例や発明を学ぶ機会を与えてくれたアジア防災センター（ADRC）と日本政府に心から感謝します。客員研究員として日本で多くの防災関係情報に接することができること、そして日々の生き方が災害予防の中核となっていることを垣間見られることに、大変嬉しく思います。日本の国と国民の防災に取り組む姿勢はフィリピンだけでなく世界中に国の手本となると思います。

私の研究活動が、ADRC やフィリピン OCD への貢献として、少しでも役立ち、フィリピンにおけるコミュニティ活動の促進に向けて、有益な一歩となることを願います。